

月刊「ワークホームだより」1月号

発行:2023年12月25日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



1月の予定

1月6日(土) 全員通所日

☆普段通り作業の予定です☆

1月10日(水) 工賃支給日

1月13日(土) 全員通所日(季節行事)

☆昼食後12時に帰所予定です☆

※工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行います。
お迎えの方は17時をお願いします。

12月の出来事

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

12月3日、グループホーム希望山荘日笠で暮らしていた増田渚さんが亡くなった。増田さんはワークホーム高砂設立時からの利用者で、最近納豆工房で日中活動を行っていた。彼女は人懐っこくて明るい性格で会うといつも笑いながら少し甲高い声で話をしてくれた。増田さんの悪性腫瘍が見つかった時はステージIVで手の施しようがなかったと聞いているが、それでも急変しての死であり、私自身は彼女の死を受け入れるのに少し時間がかかった。利用者の多くが、葬儀前日に増田さんとお別れを葬儀場に出向いてさせてもらった。涙する利用者もいたが、みんなで送ってよかったと思う。

この一年は、様々なことがあった。何もない年などないのだが、今年は特に慌ただしかったように感じる。年度当初に「作業員から支援員へ」という目標を掲げたが、多様な課題が複雑にからみあい実現は困難な状況である。作業量の見直しについてGOTOさんの協力を得るべく協議を進めているが、まだ先は見通せない。

3年に一度の障害福祉サービス報酬改定の議論が大詰めを迎えている。人材を得るには程遠い改定で福祉や介護に対する評価の低さを痛感する。優秀な若者は海外に流出し少子高齢化という国の形が変わりつつあるのに、政治の世界ではこの現実の受け止めがあまりにも鈍感なのではないかと憤りさえ覚える。

「政治とカネ」の問題は、ひどい状況である。先日、三人の孫と「人生ゲーム」をしていたら小学校2年生の孫が、「うらがね」という言葉を発したのには驚いた。小さい子どもたちの世界にまでこの嫌な響きの言葉が浸透しているのかと思うと「ぞっ」とする。腐敗した政治、国民の疲弊にあまりにも鈍感な政治、この国はいったいどこへ行ってしまおうのだろうか。

2023年の漢字は「税」だった。インボイス制度の導入で当法人の経理業務量は倍増したと藤原事務局長が嘆いている。所得税の減税は6月になるとか。越年に苦しむ国民の声は霞が関には届かない。政治の中心を担う議員さんたちは、自分たちは裏金で自由気ままにやっている。そんなことが許されるのか。税金を財源とする私たちの福祉サービス報酬は、多少は上がるとの見通しであるが、その分、様々な締め付けが危惧される。生活介護事業においては、サービス提供時間を7時間標準として提供時間が短いと減額されるシステムが新たに導入される。サービスの「質」を担保する議論の中で、財務省から「サービス提供時間で報酬額を変える」との案が出された。9時～16時の提供時間の中に送迎を入れないということになれば、いつ事務時間を位置づければいいのか。株式会社などが運営する事業所で悪質なサービスが横行しているから「時間」で「質を計る」というのが財務省の論理らしい。厚労省はその論理に反論できなかった。「時間外労働は極力しないこと」「決められた事務は滞りなくやること」「矛盾は現場の工夫で乗り越えること！」現場いじめの論理の中で、「福祉のこころ」が荒んでいくのを痛感する。

2024年こそは良い年であってほしいと願うが、社会の客観的状況は決して明るくない。そんな状況の中でもワークホームは、前を向いて歩いていこうと思う。利用者職員達の明るい笑顔で、しっかりとスクラムを組み社会の荒波に立ち向かいたいと思っている。2024年も関係各位の応援をよろしくお願いいたします！

東はりま実習生 5名を迎えて



東はりま特別支援学校高等部2年生の5名の方が11月6日から11月10日、11月20日から11月24日、12月4日から12月8日の3回に分かれて実習に来られました。5名ともたたみ班でタオル畳みや防水畳み等を行って頂きましたが、実習初日は不安や緊張もあったと思いますが一生懸命に覚えようとする様子がみられ、畳み方も日を追うごとに綺麗になっていました。5日間と短い期間でしたがまたワークホームに来ていただきたいと思いました。(長瀬)

法人全体で虐待防止研修

12月2日(土)に法人全体で虐待防止研修が行われました。社会福祉法人あかりの家のすべての事業所の職員、パート職員が参加し、講師には関西福祉大学の教授である谷口先生に来ていただきました。これまで各事業所では定期的に虐待防止研修を行っていましたが、法人全体では初めての試みでした。普段一緒に働くことのない事務局の方や相談員の方の違った視点や考え方を聞くことができ、とても貴重な時間となりました。(花岡)



クリスマス会



in ユーアイ帆っとセンター

12/23 (土) にワークホーム・納豆工房・保護者会共催のクリスマス会をユーアイ帆っとセンターで開催しました。このような形でイベントを行なうのは4年ぶりでした。私をはじめ、半分以上の職員が初めてのクリスマス会でもありました。みんなで頭に飾りを付け、クリスマスツリー飾りつけリレーゲームでは、保護者の方にも参加していただき楽しい一時を過ごしました。また、山崎支援員による指導のもと、利用者、保護者全員で合唱するなど、コロナ禍ではできなかったことを存分に楽しむことができました。利用者さん達が歌っている姿を初めて見ましたが、とても良い表情をしていて感動しました。来年も今年のクリスマス会を超えるようなレクリエーションを行なえれば良いなと思いました。(新山)



2023 年を振り返って



今年度より本格的に5日稼働がスタートしました。当初は作業工程などでイレギュラーがあり利用者さんを困らせることが多々ありました。しかし、みなさんの対応力のおかげでなんとか乗り越えることが出来ました。今年度は、コロナが緩和されたことで季節行事、日帰り旅行を実施することができ作業場で見られる姿とは違う表情が見られとても楽しい時間を作れました。今後もこのような行事を増やし利用者さんの日頃引き出せない表情を引き出していきたいと思います。今年度はまだ続きますが今年もみなさんお疲れさまでした。(吉中)

保護者懇談会 実施!

12/11(月)から12/25(月)まで利用者、保護者、職員による懇談会を実施しました。普段、保護者の方を含めて利用者さんと話す機会が少ないため、大変有意義な懇談会となりました。利用者さんの将来の為に、またワークホームに通所をすることが楽しいと思えるように、保護者の方々からの要望や情報を共有しながら今後の支援に活かしていこうと思いました。(吉中)

